



平成24年10月31日

各 位

会社名 日本金銭機械株式会社  
代表者 代表取締役社長 上東 洋次郎  
(コード番号：6418 東証・大証第1部)  
問い合わせ先 上席執行役員 人事総務企画本部長  
高垣 豪  
電 話 (06) 6703-8400 (代表)

## 中期経営計画策定についてのお知らせ

このたび当社は、2014年(平成26年)度を最終年度とする中期経営計画を策定いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1. 中期経営計画策定までの取り組み

当社グループの事業環境は、2009年度以降、リーマンショック後の世界同時不況による北米ゲーミング市場での設備投資抑制や、急激な円高の進行、更には国内遊技場向機器市場でも、ホール店舗数の減少が続くなど、停滞を余儀なくされました。

そのため、事業構造の再構築による収益力の改善を最優先として、

- ① 国内・海外グループ再編によるグループ内事業の効率化
- ② 事業拠点及び人員の集約化、並びに商流の変更による為替リスクの極小化
- ③ コア事業(貨幣処理機器)を中心に、新製品及びシステム・テクノロジーの開発のための積極投資
- ④ 新製品による国内外大手OEMを中心とした取引の積極拡大
- ⑤ コーポレートガバナンス体制の一層の強化

などに取り組み、高コスト体質からの脱却をはかるとともに、収益を伴った更なる成長を可能とする企業体質の強化を目指してまいりました。

### 2. 中期経営計画の概要

#### 【中期経営計画の位置づけ】

前期までの取り組みを更に加速・継続しつつ、「貨幣流通において市場と価値を創造し続ける真のグローバル企業」を目指し、平成26年度までの目標を定めた中期経営計画を策定いたしました。

その達成に向けてグループが結集して取り組むことにより、顧客やシェアホルダーから支持され、発展し続けるグループになることを目指してまいります。

#### 【基本方針及び重点施策】

- ① 貨幣処理機器分野において、新興国、未開拓市場への積極展開を図る。
- ② グローバル市場規模において、これまでに培った北米、欧州市場でのゲーム機メーカー、顧客、また国内市場での大手OEM、ホール運営会社等との関係強化、さらには、新たなパートナーとの協力関係の構築を目指す。
- ③ 新製品、新技術の開発、商品化のための積極投資を継続し、次世代の収益基盤を支える新たなビジネスの創出を目指す。
- ④ 当社グループの事業内容、規模に適応し、かつ柔軟、迅速な事業展開が可能なグループ体制の再構築に向けた取り組みを加速させる。

**【数値目標】**

(億円)

	2013年3月期 (予測)	2014年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)
売上高	230	247	265
営業利益	6.1% 14	7.1% 17	8.7% 23
純利益	9	13	17
前提為替レート(円) 1米ドル	79.44	80.00	80.00
1ユーロ	102.93	100.00	100.00

**【セグメント別売上高】**

(億円)

	2013年3月期 (予測)	2014年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)
日本金銭機械	26	29	36
遊技場向機器	92	90	94
北米地域	73	87	91
欧州地域	37	38	40
アジア地域	2	3	4
合計	230	247	265

**【主要指標】**

## (1) 設備投資額

(億円)

2013年3月期 (予測)	2014年3月期 (計画)	2015年3月期 (計画)
14	15	15

## (2) 株主配当

株主還元については、安定的・継続的な配当を目指して連結配当性向 30%以上を基準とし、かつ純資産配当率 2.0%を目指す。

以 上

(注) 本リリースに掲載されている将来の予測は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものであり、多様なリスクと不確定要素が含まれております。今後、さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性がありますことをあらかじめご了承ください。